

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 009	提案機関名 水産課
要望問題名 ドローンを用いたノリ養殖漁場のヒドリガモによる食害防除技術の開発	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 ノリ養殖漁場におけるヒドリガモによる食害に対する有効な防除策が確立されていない中、ドローンを用いた防除策について検討を行う。 ① 自動制御によるドローンのノリ漁場への飛行とヒドリガモの追い払いなどの可能性の検討（1年目） ② ドローンによるヒドリガモによる食害防除の実証試験（2～3年目）	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考 カワウによるアユの漁業被害についても、応用できるものと思います。	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画資源部普及指導担当
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 ヒドリガモ対策としては、夜間に漁船で追い払う、農業で使われているガスボンベを使った爆発音で追い払うなど、いろいろな取り組みがなされています。しかしながら、一時的な追い払いで被害を未然に防ぐ方法はまだ確立されていません。 ご提案のドローンを用いる追い払いは、ノリ漁場でどのように追い払うのかを検討する前に、ドローンの自律制御システムの開発や塩害対策など、いずれも機器開発からスタートすることになり、水産技術センターの技術では実施不可能と考えます。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			